

提出日 平成23年4月7日

氏名 井口 明里

SSP(ソガン大学短期語学研修)プログラム報告書

1. 授業

月曜日から金曜日までの週4日、途中に3回休憩を挟んで1日4時間おこなわれました。授業は全て韓国語で行われ、会話主体です。前半と後半の2人の先生はもちろん韓国人の先生で、ネイティブの綺麗な発音を毎日聞くことができました。はっきりと分かりやすい韓国語で話してくださったので、3週間立つ頃には初めてのころとは比べ物にならないほど先生の話の内容が理解できるようになりました。

生徒も9人と少人数で、発言できる機会がたくさんあるので、習った言葉をすぐに使って定着させることができました。

2. プログラム

韓国について日に、3週間の短期プログラムだったのにもかかわらず立派な入学式をしていただきました。その後の歓迎会では、プログラムの責任者の教授の方や学部長の方と夕食をとることができ、素敵な対応をしていただきました。

そして、このプログラムで最も良かったと思った点の1つが、一橋大学・上智大学・筑波大学など他の姉妹校の行動力があり積極的な学生と交流をもてたことでした。皆留学にこるほど韓国に興味がある学生達なので話もとても合いますし、留学を前向きに検討している学生が多かったので、とても良い刺激を受けました。

韓国の方との交流はもちろんとても重要ですが、このプログラムに参加していなければ出会うことができなかつた他大の優秀な学生達と関われたことを嬉しく思います。帰国後すぐにまた今回のプログラムのメンバーと新大久保で会う約束をしたので、今後も仲良くしていきたいと思っています。

3. 大学周辺の環境

私たちが研修を行ったソガン大学は、ソウル特別市の新村駅の近くにあります。新村は学生街として有名で、近くに延世大学・梨花女子大学など有名な大学がありました。学生の街なので周辺には安くておいしい飲食店もあり、学生生活に必要なものはほとんど揃っていたので、充実した学生生活が期待できるなと感じました。

4. 週末

3週間のプログラムの中で2回の週末がありましたが、どちらともソガン大学側の方やソ

ガン大学の学生の方がレクリエーションを企画してくれていて、とても楽しく過ごすことができました。1回目の土曜日は、ソウルシティーツアーという企画で昌徳宮という李氏朝鮮時代の宮殿・仁寺洞・国立中央博物館・南山タワー・サムギョプサルのおいしいお店に連れて行っていただき、2回目の土曜日は1日文化体験プログラムとして、韓国民俗村・エバーランドに連れて行っていただきました。

ソガン大学の学生と一緒に1日中過ごせて、たくさん話ができとても楽しかったです。韓国民俗村では伝統的な村の様子や踊りを見ることができましたし、貸切バスも用意してくださっていたのでソウルから遠くて日本人観光客が全くいないエバーランドにも行くことができました。自分たちでは行くのが大変だったであろう場所に行けて、とても貴重な体験ができました。

5. Language exchange

Language exchange というのは、ソガン大学で日本語を学んでいる学生と交流し、お互いに言葉を教えあうというシステムです。授業中に先生から紹介していただきました。

私の場合は、3年生でジャーナリズムについて勉強しているパク・ヘミンという女の子でした。短い留学期間だったので3回しか会うことができませんでしたが、たくさん色々なことを話して、お互いの国や教科書では学べない若者文化を教えあうことができました。初めて韓国のカラオケにも行きましたし、同い年の女の子ということもあってとても楽しい時間を過ごすことができました。なので、最後に会った日の別れ際はとてもさびしかったです。

もう簡単に会うことはできませんが、メールで簡単にやりとりすることができるので、これからもお互いに言葉を教えあいながら連絡をとりつづけていって、ぜひ再会したいと思います。

6. ソガン大学の学生との交流

日本への留学が決まっているソガン大学の学生の方が5人、私たち SSP プログラムに参加した日本人学生の色々な面倒をみてくれました。とても日本語が上手で、丁寧に韓国語を教えてくださいました。

毎日宿泊先のホテルまで迎えに来てくれて、一緒にお昼ごはんを食べていました。日本人だけではとても入れなさそうな、学生御用達の安くておいしいお店にたくさん行くことができました。先生のきれいな韓国語を聞いて学ぶことはもちろん大切ですが、年の近い学生達の日常会話をたくさん聞いて、教科書などには載っていないとっさの一言など覚えることができました。